

今回の  
お知らせ

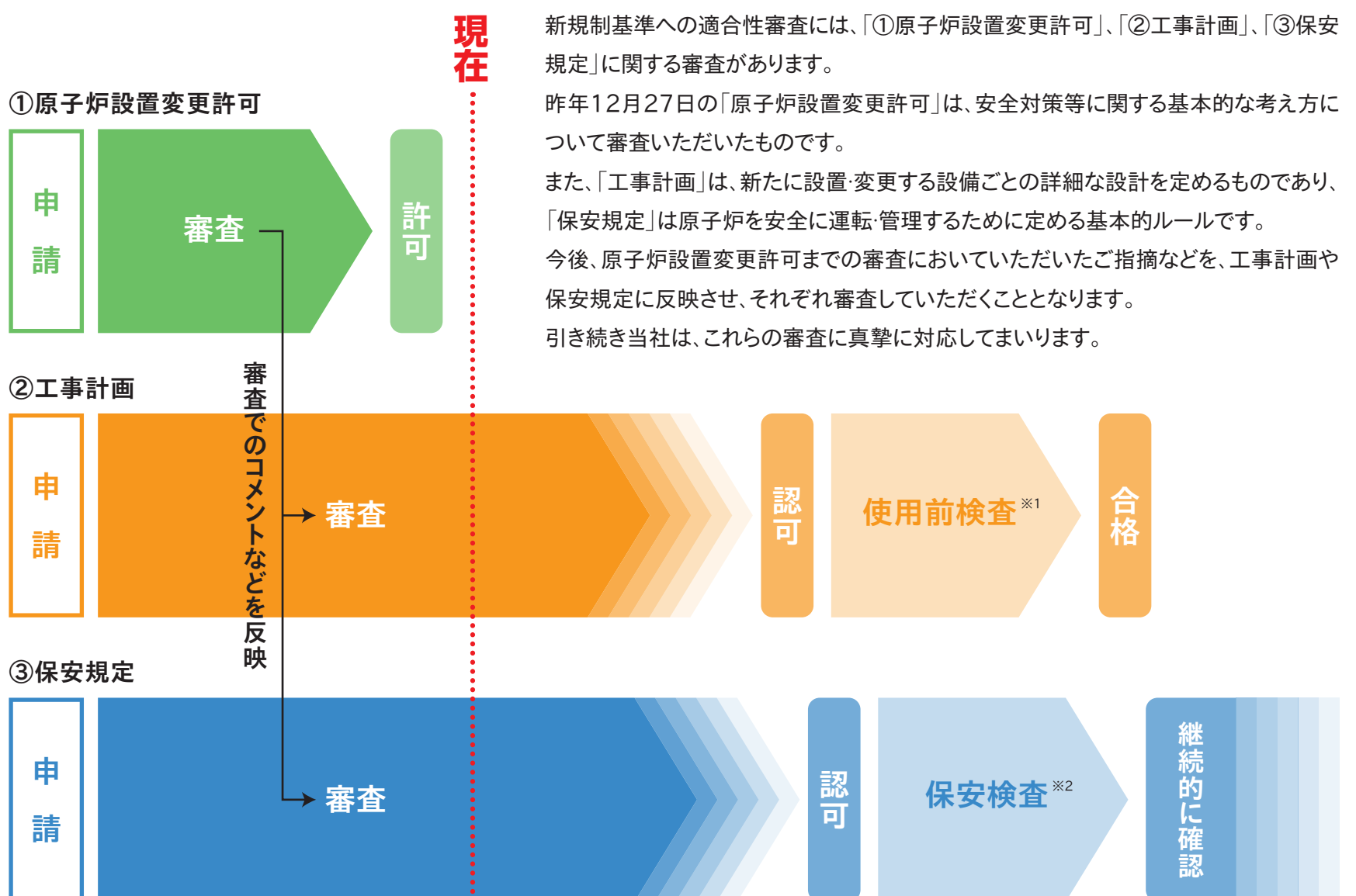
- 6、7号機の新規制基準への適合性について
  - ・新規制基準に関わる許認可のながれ
  - ・新規制基準への主な対応

## 柏崎刈羽原子力発電所6、7号機の 原子炉設置変更許可をいただきました

引き続き、新規制基準の審査、県の検証、皆さまへのご説明に  
真摯に取り組んでまいります

昨年12月27日、当社は、原子力規制委員会より柏崎刈羽原子力発電所6、7号機の原子炉設置変更許可をいただきました。2013年9月27日に原子炉設置変更許可申請をして以降、審査がすすむ過程において様々なご指摘をいただくことで、安全対策等に関する基本的な考え方は、新規制基準の求めるレベルに達することができたと考えております。今後、工事計画認可申請および保安規定変更認可申請の審査に対応していくとともに、新潟県の掲げる3つの検証に、当社としても全力で対応してまいります。当社は、柏崎刈羽原子力発電所の更なる安全性・信頼性の向上に努め、皆さまのご懸念に対して真摯に説明を尽くしてまいります。

### 新規制基準に関わる許認可のながれ



※1 使用前検査…認可された工事計画通りに工事されているかを確認するもの

※2 保安検査…保安規定の順守状況を確認するもの

## 新規制基準への主な対応

柏崎刈羽原子力発電所では、福島第一原子力発電所の事故の教訓を踏まえて様々な安全対策に取り組んでいます。その中から、新規制基準への主な対応をご紹介します。

### 自然災害への対応

地震や津波など自然災害に対して、何層もの対策を実施しています。

#### ① 地震対策

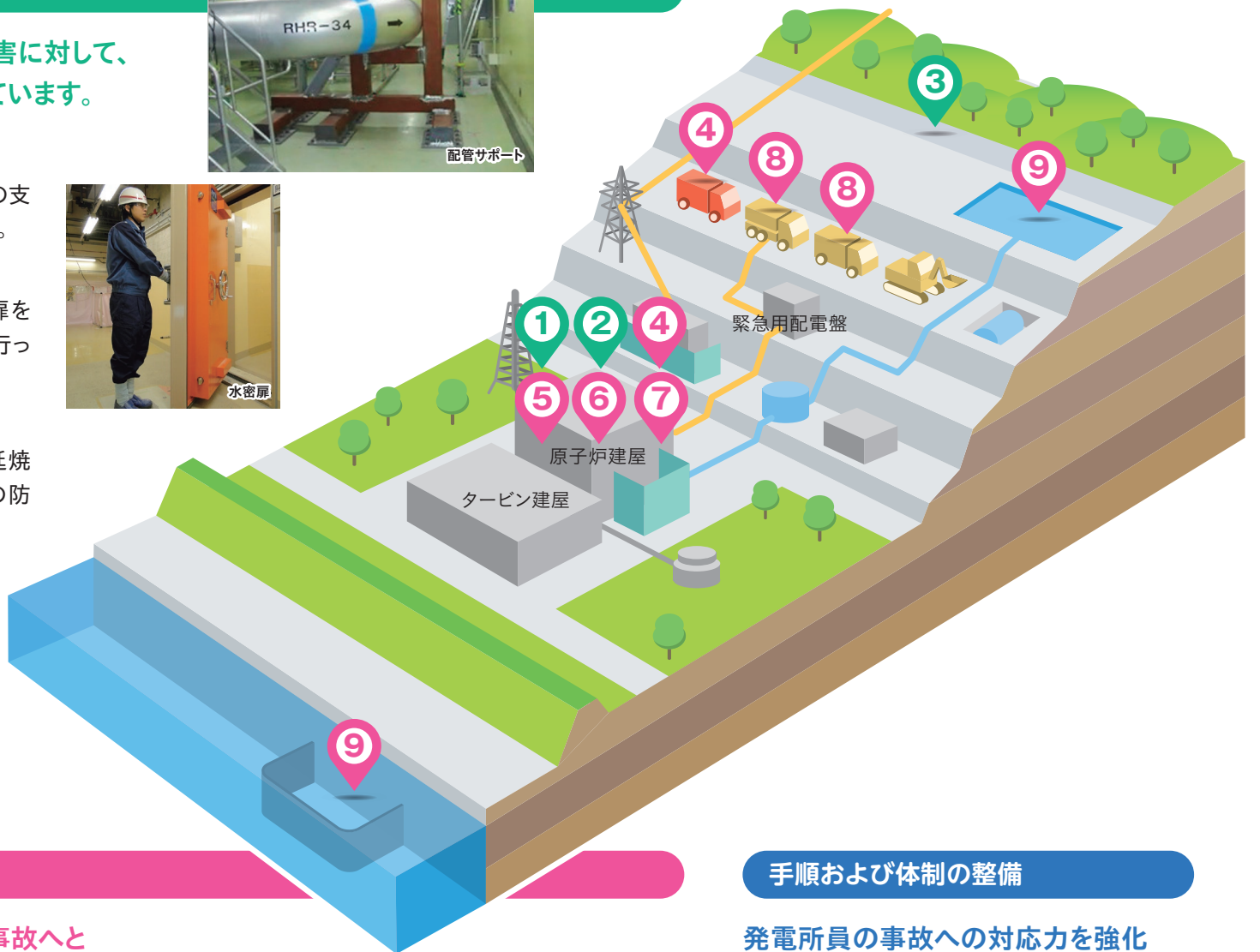
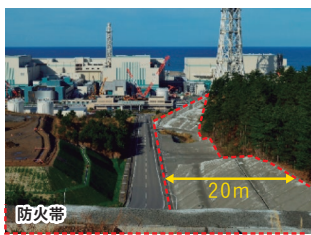
建屋内の配管・電線管などの支えの追加や強化をしています。

#### ② 津波対策

重要な機器のある部屋の扉を水密化するなど浸水対策を行っています。

#### ③ 森林火災対策

発電所周辺の森林火災の延焼防止のため、幅20m以上の防火帯を設けています。



### 重大事故対策

事故が発生しても重大事故へと至らないように、何層もの対策を実施しています。

#### ④ 注水機能の強化

電源を喪失しても様々な方法で原子炉圧力容器および使用済燃料プールに注水して燃料を冷やし続けます。



#### ⑤ 除熱手段の強化

できるだけ排気（ベント）しないで済むように、新しい除熱システムを開発しました。

#### ⑥ フィルタベント設備

原子炉を冷却できずにベントする際、放出される放射性物質を極力低減するためにフィルタベント設備を設置しました。これにより、粒子状放射性物質を99.9%以上、気体状放射性ヨウ素を98%以上除去します。



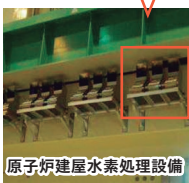
#### ⑦ 水素処理設備

原子炉圧力容器から漏れ出した原子炉建屋内の水素濃度を下げて水素爆発を防止します。



#### ⑧ 電源の強化

非常用ディーゼル発電機などが使えなくなった場合に備え、ガスタービン発電機車や24台の高圧電源車を高台に分散配備しています。



#### ⑨ 水源の確保

津波の影響を受けない高台に貯水池を設置し、緊急時の原子炉冷却に必要な淡水（約2万トン）を確保しました。また、津波に伴う引き波が発生しても冷却に必要な海水を確保するため、貯留堰を設置しました。



### 手順および体制の整備

発電所員の事故への対応力を強化するため、繰り返し訓練を行っています。

#### 緊急時組織体制の整備

福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、緊急時の組織体制を整備しました。

#### 緊急時対応訓練の実施

所員が臨機応変に対応できるようになるよう、訓練シナリオを知らせずに訓練を行っています。また、津波などによるガレキの撤去のため、所員に大型免許や重機の免許を取得させるとともに、迅速に対応できるようガレキの撤去訓練を繰り返し行っています。

